

平成 30 年度第 2 回成田市男女共同参画計画推進懇話会会議 概要

1. 開催日時

平成 30 年 8 月 10 日（金）10：00～11：20

2. 開催場所

成田市花崎町 760 番地
成田市役所 議会棟 3 階 執行部控室

3. 出席者

（委員）

川崎委員、軸屋委員、諸岡委員、宮崎委員、石渡委員、飯田委員、櫻井委員、石綿委員、
浅野委員、小島委員、土谷委員、町田委員、坂本委員、鬼澤委員、高安委員、山倉委員

（成田市）

伊藤市民生活部長、石井市民協働課長、多田市民協働課男女共同参画係長、
金光市民協働課副主査

4. 議題

- （1）「第 3 次成田市男女共同参画計画 成田市DV対策基本計画」「成田市女性活躍推進計画」
平成 29 年度事業実績について
- （2）「第 3 次成田市男女共同参画計画 成田市DV対策基本計画」「成田市女性活躍推進計画」
平成 29 年度実施状況報告書の作成について
- （3）その他

5. 議事(要旨)

- 議題（1）「第 3 次成田市男女共同参画計画 成田市DV対策基本計画」「成田市女性活躍推進計画」
平成 29 年度事業実績について、市から報告を行った。「成田市女性活躍推進計画」については平成 29 年度が初年度であり、今回初めての報告となる。
- 議題（2）「第 3 次成田市男女共同参画計画 成田市DV対策基本計画」「成田市女性活躍推進計画」
平成 29 年度実施状況報告書の作成について、市から説明を行った。実施状況報告書については、本会議にて内容を審議し、各委員からの意見を集約した上で、ホームページ等において市民等に情報提供を行う。

6. 質疑等

主な質問・意見は以下のとおり

- （1）「第 3 次成田市男女共同参画計画 成田市DV対策基本計画」「成田市女性活躍推進計画」
平成 29 年度事業実績について

委員： 進行管理表にも記載のある国際市民フェスティバルの開催に併せて、子ども会まつりを実施しているの、皆さんにもお時間があればお越しいただければと思う。

- 委員：LGBTについて市の取り組みを教えてください。
- 市：人権問題として、市民協働課にて対応している。必要がある場合は、他課との連携により対応している。
- 委員：（教育相談事業について）まず、教育センターと教育支援センターの違いを教えてください。また、両センターに臨床心理士が配置されているようだが、相談は保護者の希望通りにいくのか。配置体制はどのようになっているのか。
- 委員：教育支援センターは主に不登校児童生徒への支援を行っている。教育センターは主に教職員の研修等について対応している。臨床心理士についても、両センターにそれぞれ1名配置している。教育センターの臨床心理士は毎週火曜日の勤務であり、教育支援センターについては不登校児童に対する電話相談を行っている。
- 委員：相談件数の出現率、対象者に対する相談の出現割合のようなものは他市と比較してどうなっているのか。
- 委員：他市の状況は臨床心理士の配置を含めまちまちであるため、比較はしていない。相談件数は集計しているが、出現率としては把握していない。
- 委員：進行管理表、実施状況報告書の担当課評価について、A評価となっているものは、今後どのように対応していくのか。
- 市：A評価であったものは維持できるように、また、評価として基準に達している事業も、より高いものを目指しながら事業を進めるよう、各担当課に協力依頼をしていく予定である。
- 委員：進行管理表9ページ54番「認定農業者の確保」について、事業内容が「夫婦・後継者等による共同申請を促進し、女性認定農業者の確保を図り、女性の経営への参画を促進します。」とあるが、もう少し前向きなコメントがほしいと感じる。また、同ページ成果指標12番「審議会等への女性委員の登用率」について、国の目標値が30%のところ市が32.1%、市の目標値35%を超えてはいけないということはないと思うので、引き続き市の目標値を目指してほしい。また、成果指標13番「女性委員のいない審議会等の解消」について、4月1日の数値として記載があるが、詳細の説明は。
- 市：女性委員の登用率についてであるが、市全体で取り組んでいくものであり、国の目標値を達成しているからと安心せず、引き続き35%以上を目指していきたい。また、審議会等委員の任期については、都度改選があるが、より高い登用率を目指していきたい。

（2）「第3次成田市男女共同参画計画 成田市DV対策基本計画」「成田市女性活躍推進計画」

平成29年度実施状況報告書の作成について

- 委員：実施状況報告書5ページ「男女共同参画講座開催事業」活動指標の中で、「ターゲットを限定した講座の開催実績」とあるが、報告書を市民へ公開することを踏まえ、ターゲットという言葉が自分には強い言葉と感じる。次に、先ほども質問したが、教育センターと教育支援センターの違いがわかりづらいので、わかりやすく記載した方が良い。次に、報告書26ページ「女性のための相談窓口の充実」において、「コマ」という言葉を使っているが、他に良い表現があればいいと思う。次に、22ページ成果指標に突然「シルバー人材センター会員数」が出てくるが、事業実績や活動指標があつてのものだと思うが。
- 市：報告書は進行計画に記載された事業に基づいて作成しているため、事業内容の説明がなくわかりづらい部分もあるかと思う。ご指摘いただいた内容を中心に、計画とのバランスを

整えながら、修正し、検討していく。また、シルバー人材センター会員数の件については、進行計画との兼ね合いもあるので、今回は現状の記載としたいが、次回計画の際には見直しを図っていききたい。シルバー人材センター会員数については、高齢者が安心して暮らせる環境整備という視点から、シルバー人材センター会員数が増えればいきいきと働ける高齢者が増えるという指標としているが、会員数だけではわかりづらいと思われるので、備考欄等で補足説明を入れるように検討する。

委員： 報告書3ページ「3. 計画の推進」について、「更なる計画の推進に努めます。」とあるが、A評価とした事業についてどのように推進していくのか、市としての方向性を示した文章があってもよいと感じる。

委員： 報告書15ページ「認定農業者」、16ページ「家族経営協定」という言葉が難しく感じる。男女共同参画の視点でどう評価されていくのかなど、解説があると良いのではないかと。

市： 解説が足りない点がないかどうか確認しながら調整し、市民へ公開できるよう進めていきたい。

(3) その他

委員： 男女共同参画講座において開催するセミナーのテーマの選定が難しい。推進員の皆さんに、ご意見・アドバイスをいただければ参考になると思う。

市： 推進員会議において、市民が聴きたくなるようなテーマを試行錯誤しながら検討している。こんなテーマはどうかというご意見があれば、市民協働課へご連絡いただければ、それを参考により良いものを作っていきたい。

委員： L G B Tについて、進行管理表3ページ「教職員研修の充実」平成29年度実績に「性的マイノリティや外国人の人権問題などについて扱った」とあるが、子どもたちに向けての研修は行っているのか。

委員： 教育指導課において、教職員研修は行っているところであるが、子どもたちに対しては、保健体育の授業等において、特化して教えているわけではないが、L G B Tに関係する部分について触れていくということは、だんだんと一般化してきている。

委員： 進行管理表12ページ、13ページの女性の健康に係ることについて、どうしても妊産婦に目が行きがちであるが、産科があれば婦人科もあるというところで、幅が広い。市の事業においても幅広い年齢層に向けた推進事業があれば良いのではないかと感じた。次回の計画に向けての検討事項としていただきたい。

委員： L G B Tについて、佐倉人権擁護委員協議会でも人権問題を扱っており、L G B Tについてはまだ特化して行っていることはないが、子どもたちに向けては一人一人の人権が大切であること、人が嫌がることはしないということを大きなテーマとして人権教室を開催している。

市： 女性の健康についてのご意見は、今後の事業の検討事項としてもらうよう担当課にも伝える。

委員： L G B Tについて。学校の制服でも男女でパンツ、スカートがあるが、心と体の性が一致しない場合、決められた制服を着るのに抵抗がある場合がある。学校において、子どもが制服のスタイルを選ぶことは許可しているのか。

委員： 希望があった場合は、強要せず認めている。

- 委員：LGBTで悩んでいる人が生きづらくない社会になったらいいと思う。
- 委員：現実にそういうことが起きているが、日本の社会の中でまだ受け入れの土壌が熟成されていないというところがあるので、学校では教職員研修を含め、人権問題という一つのカテゴリーの中で理解をしてもらうよう進めている。学校だけでなく、家庭や社会全体で、受け入れの土壌を熟成させていく必要があると思う。
- 委員：進行管理表、報告書の評価について。A評価についてはこれを維持し、さらに向上してもらいたいというのが委員の希望であるが、B評価に対する今後の取り組みの姿勢に市の考え、委員の意見を反映させた方がよいと思う。
- 市：今回いただいたご意見を基に調整させていただき、報告書について全庁に向け修正案を示すこととしている。A評価、B評価ともにさらに向上に向けて努力していただきたいという旨を周知する。

7. 傍聴者

1名

8. 次回開催日時（予定）

未定